

シンポジウム「科学教育コンテストを活用した次世代人材育成」報告

「1.2 教育」では、分科企画シンポジウムは会期 2 日目の 20 日(日)午前を開催した。今回のテーマは、「科学教育コンテストを活用した次世代人材育成」とし、5 件の招待講演と一般講演 1 件の発表がありました。また、参加者も講演を熱心に聞いて下さり、活発な質疑応答がなされたことが印象に残っております。招待講演では、長年「物理チャレンジ」の企画・運営に携わってこられた東京工科大学の毛塚先生、「物理チャレンジ」に参加し、その後、研究者としてのキャリアを歩んでおられる京都大学大学院生の植松先生、「国際生物オリンピック」に向けて学生指導をしたご経験をお持ちの元高校教諭、日本生物学オリンピック教育支援部の石井先生、「ふくい理数グランプリ」の主催者側として中学生部門を担当しておられる福井県教育庁の三崎先生、科学の甲子園の主催者側である国立研究開発法人科学技術振興機構の河崎先生から、限られた時間の中で大変貴重なご講演をいただきました。一般講演では、長年「ふくい理数グランプリ」のアドバイザーとして活動しておられる福井大学の葛生先生からもご講演もいただきました。各種コンテスト等の開催は、多くの企業の支援で成り立っていることもあり、企業の方からのご講演もいただければ、産・学・官のバランスが非常によいものになったと反省しております。今後も機会を見て、コンテスト参加者のキャリアなどを追跡調査するなどテーマを掘り下げていければと思います。※写真は招待講演者で、紙面左側から、毛塚先生、植松先生、石井先生、三崎先生、河崎先生の順（プログラム編集委員、八戸高専・吉田）

